

中国株ウィークリーレポート

2020/5/18

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	23,685.42	60.08	0.25	-2.65	-17.01	28,538.44
NASDAQ	9,014.56	70.84	0.79	-1.17	0.47	8,972.60
日経225	20,037.47	122.69	0.62	-0.70	-15.30	23,656.62
上海総合	2,868.46	-1.88	-0.07	-0.93	-5.96	3,050.12
滬深300 (CSI300)	3,912.82	-12.40	-0.32	-1.28	-4.49	4,096.58
ハンセン	23,797.47	-32.27	-0.14	-1.79	-15.58	28,189.75
中国企業	9,674.57	-12.53	-0.13	-1.96	-13.37	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 1.8%安と続落、上海総合指数は 0.9%安

香港市場ではハンセン指数が週間で 1.8%安と続落。週初は世界各地での経済活動再開の動きを好感して続伸で始まったが、その後は週末 15 日まで 4 日続落。新型コロナウイルスを巡って中国・武漢市や韓国で集団感染が再び発生していると伝わり、感染の第 2 波が警戒された。米中対立の激化も相場の重しとなり、ハンセン指数は 14 日に節目の 24000 ポイントを割り込んだ。本土市場では上海総合指数が週間で 0.9%安と 3 週ぶりに反落。新型コロナウイルスの感染第 2 波や米中対立激化への警戒感が重しとなった。

今週の展望: 香港市場は一進一退の展開か、22 日に中国で全人代が開幕

香港市場は一進一退の展開か。新型コロナウイルスを巡って感染第 2 波への警戒感が高まっているほか、米国がファーウェイへの制裁を強化するなど米中対立が一段と激化。中国側が制裁への報復措置を発表すれば米中関係は泥沼化する可能性があり、関連報道に神経質に反応しそうだ。また 22 日に開幕する全人代で李克強首相がどのような景気対策を打ち出すかにも注目が集まる。本土市場も今週は一進一退の展開が予想される。米中対立の激化は懸念材料だが、全人代で景気対策が打ち出されれば相場の支援材料となる公算が大きい。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	42.65	9.22
2 舜宇光学科技 (02382)	122.50	5.88
3 香港証券取引所 (00388)	252.40	3.95
4 長江インフラ (01038)	47.05	3.63
5 中国蒙牛乳業 (02319)	28.20	2.17
6 テンセント (00700)	421.20	0.72
7 中国生物製薬 (01177)	11.96	0.67
8 恒隆地産 (00101)	16.66	0.24
9 恒安国際集団 (01044)	65.10	0.23
10 電能実業 (00006)	50.45	0.10

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国中信 (00267)	7.24	-7.42
2 信和置業 (00083)	10.26	-5.87
3 新鴻基地産 (00016)	96.60	-5.66
4 九龍倉置業地産 (01997)	31.70	-5.65
5 中国海外発展 (00688)	24.35	-5.62
6 太古A (00019)	47.05	-5.62
7 ヘトロファイナ (00857)	2.56	-5.19
8 中国旺旺 (00151)	5.27	-5.05
9 中国人寿保険 (02628)	14.82	-5.00
10 シハック (00386)	3.52	-4.86

▼今週の主なイベント

- 5月20日(水) 【中国】最優遇貸出金利
- 5月22日(金) 【中国】全国人民代表大会開幕

▼今週の期待材料

- ◆22 日開幕の全人代で李克強首相が政府活動報告を発表、本格的な景気対策に期待が高まる公算
- ◆20 日に中国人民銀行が最優遇貸出金利を発表、2 カ月連続の引き下げなら相場の支援材料に
- ◆ハンセン・インデックシズ社が 18 日に加重議決権銘柄やセカンダリー上場銘柄の指数採用の是非を判断

▼今週の懸念材料

- ◆米国がファーウェイへの制裁を強化、トランプ米大統領は中国との断交を示唆するなど米中関係が悪化
- ◆中国や韓国で再び新型コロナウイルスの集団感染が発生、感染第 2 波への警戒感がくすぶる公算
- ◆退職年金運用の米連邦退職貯蓄投資理事会、中国株を組み入れた指数での運用計画を中止

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 1-3 月期決算は 6%増益、特別要因除外の実質で 29%増益
- ☆ チャイナ・ユニコム (00762) : 中国企業指数に 6 月 8 日付で新規採用が決定
- ☆ SMIC (00981) : 米国がファーウェイへの制裁強化、国内半導体銘柄にとっては追い風
- ☆ レノボグループ (00992) : 20 日に 20 年 3 月本決算を発表、市場予想は 11%増益
- ☆ アリババ集団 (09988) : 加重議決権銘柄のハンセン指数への採用を 18 日に判断
- ★ 中国東方航空 (00670) : 4 月の旅客数が 75%減少、貨物輸送量は 49%減
- ★ 中国南方航空 (01055) : 4 月の旅客数が 68%減少、貨物輸送量は 26%減
- ★ BYD (01211) : 4 月の乗用車販売台数が 15%減少、1-4 月は 40%減
- ★ 新華人寿保険 (01336) : 中国企業指数から 6 月 8 日付で除外が決定
- ★ 小米集団 (01810) : 20 日に 1-3 月期決算を発表、市場予想は 41%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。